



平成 20 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 や ま や
(コード番号 9994 東証第一部)
代 表 者 の 役 職 名 代表取締役社長 山 内 英 靖
社 長 執 行 役 員
問 い 合 わ せ 先 執行役員社長室長 久 野 朋 美
T E L (022) 742-3115

(訂正)「平成 21 年 3 月期 第 2 四半期決算短信」の一部訂正について

本日開示いたしました「平成 21 年 3 月期 第 2 四半期決算短信」に一部誤りがありましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正内容 (訂正箇所は下線で示しております。)

(訂正前)

3.平成 21 年 3 月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当 期 純 利 益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,500	16.8	1,050	△1.0	1,000	△4.1	505	<u>△10.6</u>	51.21

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

(訂正後)

3.平成 21 年 3 月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当 期 純 利 益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,500	16.8	1,050	△1.0	1,000	△4.1	505	<u>△10.5</u>	51.21

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

以上

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社やまや
コード番号 9994 URL <http://www.yamaya.jp>代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 山内 英靖
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 久野 朋美

TEL 022-742-3115

四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	39,416	—	414	—	399	—	146	—
20年3月期第2四半期	37,951	4.2	277	△47.4	272	△57.7	145	△52.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	14.84	—
20年3月期第2四半期	14.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	31,323	14,770	47.2	1,497.78
20年3月期	29,645	14,796	49.9	1,500.41

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 14,770百万円 20年3月期 14,796百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	16.00	16.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,500	16.8	1,050	△1.0	1,000	△4.1	505	△10.5	51.21

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社(社名 楽市株式会社) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	9,861,700株	20年3月期	9,861,700株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	89株	20年3月期	89株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	9,861,611株	20年3月期第2四半期	9,861,611株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、原油、原材料価格の高騰やサブプライムローン問題に起因する米国経済の減速懸念が強まり、厳しい経営環境が続いております。

また、当酒販業界においては、お客様の生活防衛意識が高まる一方で、原料高などによる酒類メーカーの値上げがあいつぎました。

このような状況の中、当社は、販売価格の据え置きにつとめ、「食材王国みやぎ」に参加し、J R東日本の「大人の休日倶楽部」へのサービス提供など、お客様第一主義と地産全消、地域おこしに取り組みました。

あわせて、既存店の活性化を図るため、鮎川店、千波店（茨城県）、都南店（岩手県）、通町店（宮城県）、赤坂店（東京都）、上尾店（埼玉県）、大野目店（山形県）の計7店舗を改装いたしました。

こうした結果、店舗の業績は、既存店の客数が前年比100.9%、同じく、客単価は前年比101.4%となり、その結果、既存店の売上高は前年比102.3%となりました。

また、清酒、焼酎、ワインなどの商品部門で粗利率が改善したほか、前中間期の出店数12店に対して、当累計期間の新規出店は、一関店（岩手県）、六甲道店（兵庫県）、西多賀店（宮城県）の3店で、減価償却費が抑制されたため、営業利益が改善いたしました。

当第2四半期末の店舗数は188店舗となりましたが、そのうち3店舗の固定資産を減損処理し36百万円を特別損失として計上いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は394億16百万円（前年同期比103.9%）、営業利益4億14百万円（同149.4%）、経常利益3億99百万円（同146.8%）となり、四半期純利益1億46百万円（同100.5%）となりました。（前年同期比の比率につきましては、参考数値であります。）

なお、当社は、大阪府池田市の株式会社前田より酒類小売事業を承継することを目的に、当社100%出資の子会社「楽市株式会社」を7月24日に設立いたしました。

楽市株式会社は、10月1日より「酒の楽市」49店舗（前年売上高230億円）の事業を承継しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）財政状態

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比べて16億77百万円（5.7%）増加し、313億23百万円となりました。流動資産は、現金預金が13億9百万円増加し、商品が6億64百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて20億84百万円（16.6%）増加し、146億15百万円となりました。固定資産は、減価償却費が有形固定資産の取得を上回ったため、前連結会計年度末と比べて4億7百万円（△2.4%）減少し、167億7百万円となりました。

総負債は、前連結会計年度末と比べて17億3百万円（11.5%）増加し、165億52百万円となりました。流動負債は、短期借入金で17億円増加し、買掛金で4億36百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて20億72百万円（15.9%）増加し、150億70百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末と比べて3億69百万円（△20.0%）減少し、14億82百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比べて25百万円（△0.2%）減少し、147億70百万円となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローでは、3億75百万円を得ております。これは主に、たな卸資産が6億72百万円の増加、法人税等の支払で2億19百万円減少及び仕入債務が4億36百万円増加したことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、2億1百万円を使用しております。これは主に、有形固定資産の取得に2億40百万円を支出したことなどによるものです。投資につきましては、今後も効率的な投資に注意し、投資回収計画を事前に十分練り上げて実施します。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、11億36百万円を得ております。これは、長期借入金の返済に4億6百万円と配当金の支払に1億57百万円を支出したものの、短期借入金で17億円増加したことによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は27億75百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億9百万円の増加となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社子会社の楽市株式会社が、10月1日より「酒の楽市」49店舗（前年売上高230億円）の事業を開始したことによって、平成20年10月31日に通期業績予想を修正いたしました。

楽市株式会社の業績予想につきましては、10月1日以降当期末までの6ヶ月間で、売上高は100億円、のれん償却1億円を営業費用として見込んだことにより、営業利益は△2億円、経常利益は△2億円、当期純利益は△1億20百万円と保守的に見込んでおります。

通期の連結業績の見通しといたしましては、売上高885億円（前年同期比116.8%）、営業利益10億50百万円（同

99.0%)、経常利益10億円(同95.9%)、当期純利益5億5百万円(同89.5%)を見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当社は、平成20年7月24日に酒類及び食料品等の小売を目的として子会社楽市株式会社を設立しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産について、従来、主として先入先出法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ4,368千円減少しております。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数の変更

平成20年度の法人税法の改正に従い、第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数の見積りの変更を実施しました。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

5 . 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,775,383	1,466,003
売掛金	941,192	825,115
商品	9,247,200	8,582,996
製品	19,610	78,572
仕掛品	66,582	-
前払費用	255,703	226,501
繰延税金資産	183,624	153,068
その他	1,126,978	1,199,144
貸倒引当金	401	176
流動資産合計	14,615,874	12,531,227
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,647,864	13,677,496
減価償却累計額	7,193,422	6,997,108
建物及び構築物 (純額)	6,454,441	6,680,387
機械装置及び運搬具	2,240,072	2,238,772
減価償却累計額	1,198,235	1,087,556
機械装置及び運搬具 (純額)	1,041,836	1,151,215
工具、器具及び備品	3,793,655	3,807,624
減価償却累計額	2,857,288	2,832,854
工具、器具及び備品 (純額)	936,367	974,769
土地	4,851,018	4,851,018
建設仮勘定	2,646	8,268
有形固定資産合計	13,286,310	13,665,659
無形固定資産		
ソフトウェア	28,749	33,376
電話加入権	20,244	20,244
施設利用権	3,799	4,085
その他	3,345	3,538
無形固定資産合計	56,138	61,244
投資その他の資産		
投資有価証券	266,938	290,738
関係会社株式	235,998	229,619
出資金	2,598	2,569
破産更生債権等	36,000	36,000
長期前払費用	59,260	55,344
差入保証金	2,571,132	2,622,262
繰延税金資産	225,715	183,972
その他	40,396	40,396
貸倒引当金	73,196	73,196
投資その他の資産合計	3,364,844	3,387,707
固定資産合計	16,707,292	17,114,611
資産合計	31,323,167	29,645,839

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,333,580	4,896,998
短期借入金	7,600,000	5,900,000
1年内返済予定の長期借入金	812,400	812,400
未払金	389,925	528,343
未払費用	257,702	220,741
未払法人税等	312,741	262,682
未払消費税等	41,406	114,855
預り金	16,529	17,382
賞与引当金	276,399	217,624
その他	29,831	26,799
流動負債合計	15,070,516	12,997,826
固定負債		
長期借入金	536,000	942,200
退職給付引当金	517,454	480,908
役員退職慰労引当金	392,330	391,730
その他	36,332	36,674
固定負債合計	1,482,116	1,851,512
負債合計	16,552,633	14,849,338
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247,330	3,247,330
資本剰余金	6,055,252	6,055,252
利益剰余金	5,451,206	5,462,625
自己株式	65	65
株主資本合計	14,753,723	14,765,142
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	16,810	31,358
評価・換算差額等合計	16,810	31,358
純資産合計	14,770,534	14,796,500
負債純資産合計	31,323,167	29,645,839

(2) 四半期連結損益計算書
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)
売上高	39,416,625
売上原価	33,570,878
売上総利益	5,845,746
販売費及び一般管理費	5,431,342
営業利益	414,404
営業外収益	
受取利息	3,073
受取配当金	3,256
不動産賃貸料	14,265
受取手数料	26,432
業務受託手数料	15,023
持分法による投資利益	6,379
その他	34,799
営業外収益合計	103,231
営業外費用	
支払利息	34,697
店舗改装費用	11,414
店舗閉鎖損失	45,578
その他	26,236
営業外費用合計	117,927
経常利益	399,707
特別損失	
固定資産除却損	6,421
災害による損失	3,626
減損損失	36,744
特別損失合計	46,792
税金等調整前四半期純利益	352,915
法人税、住民税及び事業税	268,986
法人税等調整額	62,437
法人税等合計	206,548
四半期純利益	146,367

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 : 千円)

当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	352,915
減価償却費	579,121
減損損失	36,744
長期前払費用償却額	12,351
持分法による投資損益 (は益)	6,379
支払利息	34,697
受取利息及び受取配当金	6,330
固定資産除売却損益 (は益)	6,421
賞与引当金の増減額 (は減少)	58,775
退職給付引当金の増減額 (は減少)	36,545
役員退職慰労引当金の増減額 (は減少)	600
未収入金の増減額 (は増加)	193,687
売上債権の増減額 (は増加)	116,077
たな卸資産の増減額 (は増加)	672,921
仕入債務の増減額 (は減少)	436,581
その他	321,902
小計	624,832
利息及び配当金の受取額	5,265
利息の支払額	34,787
法人税等の支払額	219,539
営業活動によるキャッシュ・フロー	375,770
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	612
有形固定資産の取得による支出	240,029
有形固定資産の売却による収入	102
長期前払費用の取得による支出	1,675
差入保証金の差入による支出	22,014
差入保証金の回収による収入	62,615
その他	29
投資活動によるキャッシュ・フロー	201,643
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (は減少)	1,700,000
長期借入金の返済による支出	406,200
配当金の支払額	157,785
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,136,014
現金及び現金同等物に係る換算差額	761
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	1,309,380
現金及び現金同等物の期首残高	1,466,003
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,775,383

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第２四半期連結累計期間（自 平成20年４月１日 至 平成20年９月30日）

当連結グループは同一セグメントに属する酒類等販売事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第２四半期連結累計期間（自 平成20年４月１日 至 平成20年９月30日）

当連結グループは、国内に所在しているため、所在地別の売上高及び営業利益についての記載は行っておりません。

〔海外売上高〕

当第２四半期連結累計期間（自 平成20年４月１日 至 平成20年９月30日）

海外売上高はないため、記載は行っておりません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 9 月30日)		
区分	金額 (千円)		百分比 (%)
売上高		37,951,122	100.0
売上原価		32,249,206	85.0
売上総利益		5,701,916	15.0
販売費及び一般管理費		5,424,528	14.3
営業利益		277,387	0.7
営業外収益			
1. 受取利息	3,161		
2. 受取配当金	6,947		
3. 賃貸料収入	11,504		
4. 情報提供手数料	32,801		
5. 通関代行手数料	14,737		
6. その他の営業外収益	23,650	92,803	0.2
営業外費用			
1. 支払利息	32,258		
2. 店舗改装費用	14,104		
3. 店舗閉店諸費用	7,402		
4. 持分法による投資損失	19,672		
5. その他の営業外費用	24,464	97,901	0.2
経常利益		272,289	0.7
特別利益			
1. 受取営業補償金	76,087		
2. その他の特別利益	9,584	85,672	0.2
特別損失			
1. 固定資産除却損	5,222		
2. 地震被災損失	13,563		
3. 過年度役員退職慰労金引当金繰入額	3,620	22,406	0.1
税金等調整前中間純利益		335,556	0.8
法人税、住民税及び事業税	110,335		
法人税等調整額	79,609	189,944	0.5
中間純利益		145,611	0.3

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 9 月30日)
区分	金額 (千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	335,556
減価償却費	534,473
長期前払費用償却	4,657
負ののれん償却額	2,712
持分法による投資損失	19,672
支払利息	32,258
受取利息及び配当金	10,109
固定資産除売却損益	5,222
賞与引当金の減少額	78,040
退職給付引当金の増加額	31,784
役員退職慰労金引当金の増加額	10,690
未収入金の増加額	217,985
売掛金の増加額	98,187
たな卸資産の増加額	624,292
仕入債務の増加額	56,070
その他	83,307
小計	84,249
利息及び配当金受取額	8,898
利息の支払額	27,958
法人税等の支払額	453,101
営業活動によるキャッシュ・フロー	556,409
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	11,698
有形固定資産取得による支出	686,207
無形固定資産の取得による支出	600
長期前払費用取得による支出	9
差入保証金の支払による支出	43,652
差入保証金の回収による収入	86,151
投資活動によるキャッシュ・フロー	656,017
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加額	1,000,000
長期借入金の返済による支出	490,000
配当金の支払額	157,785
財務活動によるキャッシュ・フロー	352,214
現金及び現金同等物に係る換算差額	542
現金及び現金同等物の減少額	859,670
現金及び現金同等物の期首残高	2,599,553
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,739,882

6.その他の情報

(重要な後発事象)

当社は、平成20年8月4日開催の取締役会において、株式会社前田を分割会社、当社の連結子会社である楽市株式会社を承継会社とする吸収分割（以下「本吸収分割」といいます）を行うことを決議し、同日会社分割契約を締結いたしました。この会社分割契約に基づき、平成20年10月1日付けで、本吸収分割により株式会社前田の資産、負債を承継いたしました。

(1) 本吸収分割の方法

当社の連結子会社である楽市株式会社を承継会社とし、株式会社前田を分割会社とする吸収分割であります。

(2) 分割期日

平成20年10月1日

(3) 吸収分割に係る割当ての内容

承継会社は、吸収分割交付金20億円のうち株式会社前田に16億70百万円を交付し、承継した資産・負債は次のとおりです。

(単位：百万円)

資産		負債	
項目	金額	項目	金額
流動資産	64	流動負債	80
固定資産	1,246	固定負債	-
資産合計	1,310	負債合計	80

なお、残り3億30百万円については、固定資産の別除権の解除後に支払う予定です。

(4) 承継会社が承継する権利義務

本件会社分割の対象となる事業部門にかかる承継資産及び契約上の地位並びにこれらに付随する権利・義務を承継いたします。

(5) 分割会社の概要

商号	株式会社前田
本店の所在地	大阪府池田市石橋二丁目4番16号
代表者の氏名	代表取締役社長 前田 貞洋
資本金	12百万円
事業の内容	酒類及び各種食料品の販売